



KYUSHU MOTORCYCLE FESTA 2018 IN AUTOPOLIS

OFFICIAL REPORT

不安定な天候に翻弄されるオートポリスラウンド 土曜日に予定されていたレース1は中止 JSB1000クラスとJ-GP3クラスは日曜朝に公式予選

全日本ロードレース選手権は、シリーズ7戦目を大分県・オートポリスで迎えた。一足先に第6戦MOTEGI2&4レースでJSB1000クラスは、後半戦に突入していたが、他の3クラスにとっては、今回から後半戦のスタートとなる。

前週に行われた事前テストは、台風19号、20号というダブル台風の接近で開催が危ぶまれたが、初日は通り雨がいった程度で走行できたが、2日目は天気こそ快晴となったが施設の停電があり走行できなかった。翌日のスポーツ走行に残ったライダーもいたが、ほとんどのライダーが2日目でテストを切り上げたこともあり、不完全燃焼のまま事前テストを終えていた。

そんなテスト不足のまま迎えたレースウィークは、少しでも多く走り、マシンセットを進めたいところだった。しかし、初日となった金曜日、そして土曜日とも不安定な天候に悩まされる結果となってしまう。

土曜日は、まず行われる予定だったJ-GP3クラスの公式予選が視界不良のため延期。JSB1000クラスも2度コースインするものの視界不良のため、すぐに赤旗が提示され、午前中の走行がキャンセルされることになる。この時点で、レース1の開催も中止という判断が下され、午後4クラスの予選を行うスケジュールが出されていた。

午後、最初に行われたST600クラスは、公式予選を行えたが、続くJSB1000クラスのセッションが始まる直前に強い雨が降ってきてしまい、またもディレイ。結局、そのまま中止の判断がくだされ、続くJ-GP3クラスの公式予選もコースコンディションがよくないため中止となった。最後となったJ-GP2クラスは、コースコンディションが回復し、雨の中、公式予選が行われた。この日、中止となったJSB1000クラスとJ-GP3クラスの公式予選は、日曜朝に行われることになった。

JSB1000クラスは、ここまで中須賀克行が5戦8レース中7勝を挙げる圧倒的強さを誇っている。事前テストでは、トップタイムをマークしており、今回も優勝候補の最右翼だと言えるだろう。

「天候の問題なので仕方がないですが、レース1ができなかったのは残念でした。事前テストから満足に走ることができていませんが、それは、みんな一緒です。から、ドライでもウェットでも、いい走りができると思うので、日曜日は予選、決勝という結果を出せるように全力を尽くすだけです」と中須賀。

ゼッケン1をつける高橋巧も今シーズン初優勝は是が非でも欲しいところだ。10年振りに復活したTeam HRCのエースとしてマシンを開発しながら、着実に中須賀との差を詰めてきている。

「レースウィークに入ってドライでは、数周しかできていませんが、そこでセットの方向性は見えて来ています。決勝は、ぶっつけ本番になってしまう可能性があります。ありますが、それがうまく行けば、いいレースができると思います」と高橋巧。オートポリスとの相性は、いい方だと語っているだけに、打倒・中須賀に燃えている。

カワサキのエース、渡辺一馬も第3戦の再現に向け虎視眈々だ。

「オートポリスは、今のマシンで一番走っているコースなので、確実にアドバンテージがあると思います。そこを生かして予選、決勝と組み立てて行きたいですね。鈴鹿8耐で組んだジョナサン・レイ選手も来ているので、いいレースを見せたいですね。もちろんカワサキファンの皆さんの期待にも応えたいと思っていますよ!」と自信をのぞかせる。

ヨシムラの津田拓也、渡辺一樹、ヤマハファクトリーの野左根航汰などもトップ争いに加わって来そう。秋吉耕佑、高橋裕紀、清成龍一、加賀山就臣、水野涼なども上位に進出して来る可能性があるだろう。

20周で争われる決勝レース。土曜日の予報では、晴れとなっているが、15時以降には雨マークも…。ドライとなるか? ウェットとなるか? 平成最後の夏に行われる第7戦オートポリスラウンドを制するのは!?

ST 600
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW



ドライタイヤでアタックした亀井雄大が 全日本初ポールポジションを獲得!

オートポリスは得意なコース
ドライでもレインでも勝ちを狙って行きます!

天候の早い回復が見込めないため、午前中のセッションがすべてキャンセルされ、午後のスケジュールが4クラスの予選のみとなったオートポリスラウンド。その最初のセッションがST600クラスの公式予選となった。路面はピットウォーク等が行なわれている間に乾き始めているが、「WET宣言」の中でのセッションは当初、ライン上はまだ水しぶきが上がる。その状況で、金曜日のART走行でトップタイムをマークしていた佐野優人が2分2秒332をマークしてトップに浮上。セッションが進むに連れて各ライダーもタイムアップを果たし、長尾健吾、上原大輝、西嶋修、田尻悠人、亀井雄大らが2秒台に入れてくる。

ランキングトップの岡本も中盤に2秒台に入れてポジションアップすると、その後は立て続けにタイムアップ、2秒241でトップを奪い、終盤にかけてさらにアタックを続け1秒875まで上げる。しかし、路面状況も好転してきた残り5分くらいから、それまでタイムの出でなかったライダーも含め最後のアタック。國峰琢磨が1秒919で2番手に浮上すると、亀井雄大が1秒464に入れてトップに立つ。小山知良も1秒814に上げポジションアップ。チェッカー周にタイムを上げた南本宗一郎が2秒183で5番手となった。結局、全日本初のポールポジションとなった亀井、國峰、小山でフロントロウ、岡本、南本、長尾の順でセカンドロウに並ぶことになった。



ポールポジション: 2分01秒464
#11 亀井 雄大
Honda Suzuka Racing Team

『ドライタイヤで行くことは決めていたので、うまい具合に乾いてくれました。オートポリスは、J-GP3時代から得意なコースなんですが、ウェットタイヤが新しくなってから、なかなかうまく乗ることができなかったのですが、やっと今回分かってきたところでした。ただ、金曜日の走行で安田選手が、濡れている状態で走っていたので、ドライタイヤで行けると考えていました。他のライダーも(たくさん)周回してくれていたんで、思いのほか乾くのが速かったですね。ポールポジションは狙っていましたが、残り5分くらいは、全力でアタックしました。調子がいいので、ドライでもレインでも勝ちを狙って行きます』

J-GP2
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW



岩戸亮介が3戦連続トップグリッド 念願の地元でポールポジション!

決勝の作戦は特にない
前でゴールすることを考えて焦らずに行く!

午後から予定されていたJSB1000、J-GP3クラスが激しい雷雨のための公式予選がキャンセルとなったが、J-GP2の公式予選は16時から30分間の予定で開始された。ウェット路面の中、序盤から名越哲平、岩戸亮介、関口太郎らの上位陣がタイムと順位を入れ替える争いが展開された。セッションが進むに連れてタイムも上がり、順位争いも熾烈になってきた。中盤以降は榎戸寛がトップに立つと、徳留真紀、岩崎哲朗らのベテラン勢も上位に食い込んでくる。

残り5分頃、アタックの行方が読めない中、1秒810でトップの関口と激しくタイムを争っていた岩戸も含め、各ライダーとも最後のアタックに挑んでくる。岩戸が一気に0秒742で2番手以下を突き放す。関口、名越もタイムを削ってくるが上回ることはいかない。目まぐるしくモニター上のタイムと順位が入れ替わる中、最後に榎戸も0秒823に入れて2番手のポジションを死守。

結局、岩戸がそのまま第4戦SUGO、第5戦筑波に続いて3戦連続でポールポジションを決めた。2番手に榎戸、3番手は1秒446で名越、関口が1秒664で4番手、岩崎も最後に1秒911までタイムアップして5番手、セカンドロウの最後6番手には中村修一郎が2秒110で食い込んだ。



ポールポジション: 2分00秒742
#4 岩戸 亮介
Team高武 RSC

『初めて地元のレースでポールポジションを獲得することができて、うれしいです。今年は、シーズン通して気を強く持っているので、今回も、いつも以上に気合いが入っています。オートポリスは、山の中にあるため、不安定な天候になることは予想していたので、集中力を切らさないように心掛けていました。予選が始まる少し前に、空が明るくなってきたので集中力を高めて行きました。鈴鹿8耐で1000に乗ったことで、逆に本業への集中力が高まりました。決勝の作戦は特にありませんが、前でゴールすることを考えて焦らずに行きたいですね。一番なのは、逃げて独走することが理想ですが、まずは、集中してスタートを決めたいですね』

MFJ Superbike Round 7 SUPERBIKE RACE in KYUSHU 1 - 2 Sep. 2018

公式予選結果



●予選:天候:曇 路面/ウェット 出走39台
●決勝スタート/16:05(15周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	11	亀井 雄大	Honda Suzuka Racing Team	CBR600RR	2'01.464
2	55	國峰 琢磨	日本郵便 Honda Dream	CBR600RR	2'01.604
3	230	小山 知良	日本郵便 Honda Dream	CBR600RR	2'01.813
4	51	岡本 裕生	51ガレージチームイワキ	YZF-R6	2'01.875
5	9	南本 宗一郎	AKENOSPEED・YAMAHA	YZF-R6	2'02.183
6	16	長尾 健吾	善光会TEAMけんけん+BEE	YZF-R6	2'02.237
7	97	佐野 優人	BATTLEFACTORY	CBR600RR	2'02.255
8	57	奥田 教介	Team MF & Kawasaki	ZX-6R	2'02.579
9	71	上原 大輝	Mistresa RT HARC-PRO.	CBR600RR	2'02.586
10	26	西嶋 修	チーム阪神ライディングスクール	ZX-6R	2'02.718
11	27	田尻 悠人	GOSHI Racing	CBR600RR	2'02.901
12	98	佐野 勝人	TEAMVITALSPIRIT	CBR600RR	2'03.362
13	23	中村 豊	MOTOBUM×CRYPTOHarbor	CBR600RR	2'03.439
14	77	井吉 亜衣稀	グリーンクラブ 能塚	Ninja ZX-6R	2'03.454
15	17	行村 和樹	TOHO Racing Club	CBR600RR	2'03.616
16	12	古山 颯太	伊藤レーシング	YZF-R6	2'03.624
17	40	安田 毅史	TEAM PLUSONE	YZF-R6	2'03.736
18	45	丹羽 貴大	OZT Racing with YSP名古屋西	YZF-R6	2'03.866
19	18	杉山 優輝	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	2'04.347
20	43	中山 耀介	TEAM SHOTA	YZF-R6	2'04.353
21	38	小山 葵	AKENOSPEED・YAMAHA	YZF-R6	2'04.355
22	41	梅田 虎太郎	MOTOBUM HONDA REVES	CBR600RR	2'04.396
23	81	野々山 祐也	RSLレーシング	CBR600RR	2'04.430
24	69	植垣 創平	チーム能塚	ZX-6R	2'04.562
25	52	関野 海斗	51ガレージチームイワキ	YZF-R6	2'04.634
26	8	名越 公助	GBS YAMAHAマツエセブン忠男	YZF-R6	2'04.838
27	420	亀井 駿	日本郵便 Honda Dream	CBR600RR	2'04.897
28	28	松川 泰宏	MOTO BUM HONDA+SAI	CBR600RR	2'05.004
29	090	中村 龍之介	au・テルル MotoUP RT	CBR600RR	2'05.138
30	54	黒木 玲徳	GOSHI Racing	CBR600RR	2'05.219
31	44	平野 ルナ	TEAM ENDLESS by SHANTI SSM	CBR600RR	2'05.661
32	58	池田 秀成	イスベース&おやしき雄志	CBR600RR	2'06.070
33	78	大山 翼	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR600RR	2'06.180
34	36	櫻井 賢一	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	2'06.778
35	76	岩波 史人	豊後なしかレーシング倶楽部	ZX-6R	2'06.928
36	92	岩谷 泰慎	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR600RR	2'07.683
37	73	今村 洋介	チームいずみ	ZX-6R	2'07.780
38	74	野田 友治	AKENO SPEED	YZF-R6	2'08.536
39	34	宮脇 寿郎	ファイヤーワークス&T-PRO inc,保険職人	ZX-600R	2'10.008
***** 以上予選通過基準タイム (2'11.357 - 108%) *****					
79		藤田 茂樹	4ing☆RT MOTUL	ZX-6R	出走せず
Entry :40 Start :39 WET宣言 StartTime:13:10'00 FinishTime:13:40'00					



●予選:天候:雨 路面/ウェット 出走20台
●決勝スタート/14:50(18周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	4	岩戸 亮介	Team高武 RSC	MD600	2'00.742
2	34	榎戸 育寛	Kohara Racing Team	KALEX	2'00.823
3	634	名越 哲平	MuSASHi RT HARC-PRO.	HP6-q	2'01.446
4	44	関口 太郎	SOX Team TARO PLUSONE	HP6	2'01.664
5	70	岩崎 哲朗	OGURA CLUTCH with RIDE IN	ZX-6R	2'01.911
6	090	中村 修一郎	au・テルル MotoUP RT	KALEX	2'02.110
7	64	伊達 悠太	KIMA Racing	HP6	2'02.282
8	7	石塚 健	will-raise racingRS-ITOH	ZX-6R	2'02.773
9	36	徳留 真紀	マルマエPLUSONE	SPEED-UP	2'02.928
10	71	三原 壮紫	TONE RT SYNCEDGE4413	HP6	2'02.960
11	392	尾野 弘樹	ミクニ テリーアンドカー	GSX-R600	2'02.984
12	16	作本 輝介	Team高武 RSC	MD600	2'03.229
13	10	Kubo Keminth	伊藤レーシング	YZF-R6	2'03.284
14	29	和田 留佳	will-raiseracingRS-ITOH	ZX-6R	2'03.446
15	30	阿部 恵斗	Webike チームブリックヤマハ	YN6[	2'03.522
16	25	伊藤 勇樹	伊藤レーシング	YZF-R6	2'03.539
17	31	豊島 怜	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R6	2'05.563
18	12	大木 崇行	Kohara Racing Team	HP6	2'05.784
19	32	井手 翔太	HITMAN RCKOSHIE YAMAHA	YZF-R6	2'07.709
20	28	中尾 健治	R&Tサークル・YSP宇都	YZF-R6	2'08.549

***** 以上予選通過基準タイム (2'10.683 - 108%) *****

Entry :20 Start :20

WET宣言

StartTime:16:00'00

FinishTime:16:30'00



岩戸とタイトルを争う関口太郎は4番手スタート



2番手からスタートする國峰琢磨



今季最高位となる2番手グリッドからスタートする榎戸育寛

INFORMATION

RIDE & DRIVE

全日本ロードレース&
全日本モトクロスを無料放送

MFJが管轄するロードレース、モトクロスの各全日本選手権シリーズ全戦が、無料BS放送のBS12(番組名「RIDE&DRIVE」)で、モーターサイクルスポーツバラエティとして放送! 放映日時は毎月最終金曜の21:30~22:00になりました。

★詳しい放映スケジュール等はファンサイトで!

《放映スケジュール》

12月の総集編まで毎月最終金曜の21:30~22:00に放送!!



インターネットライブ中継&動画配信も充実!!

MFJ *Live* CHANNEL

全日本ロードレース選手権は全戦・全クラスの予選・決勝をライブ配信! 今年からカメラ位置・アングルを充実、より迫力ある映像をお届けします。※通信環境によりディレイ配信となる場合もあります



YouTube「MFJ SUPERBIKE オフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!

詳しくはファンサイトで → <http://superbike.jp/>





KYUSHU 2018 MFJ ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP Round.7 MOTORCYCLE FESTA 2018

イベント スケジュール

9/2(日)



	コース/レース	イベント広場	
		ステージイベント	フィールド
7:00			
30	お客様ゲート オープン[7:30予定] / お客様パドックオープン[7:30] ※パドック入場にはパドックに入れるバスが必要です		
8:00	10 J-GP3 予選	10 「からいもくん」も登場!! サーキットクイーン&大津町PRステージ	
30			
9:00	45 JSB1000 予選		
30	30 J-GP2 ウォームアップ	15 レースクイーン ステージ	
10:00	55 ST600 ウォームアップ	00 JSB1000 ライダートークライブ	
30	20 J-GP3 決勝 35 15Laps	出演 中須賀 克行選手 高橋 巧選手 津田 拓也選手 渡辺 一馬選手	
11:00			
30			
12:00	45 ピットウォーク (パドックバス・ピットウォーク バス等が必要です) 30	特別イベント ライダースのサインがもらえるかも! チームのレースクイーンにも会えるよ!	
30			
13:00	50 Ninja400予選		
30	15 JSB1000 決勝 30 20Laps	年間チャンピオン争いにも重要な一戦!! メイングランドスタンド、ファイナルコーナースタンド、 1コーナー芝生席など好きな観戦ポイントでライ ダーを応援しよう!!	
14:00		30 和太鼓「高太郎」演奏	
30	35 J-GP2 決勝 50 18Laps	10 ジャンケン大会	
15:00			
30	50 ST600 決勝 05 15Laps	今年の九州モーターサイクルフェスタを締めくく るのは、ST600クラス決勝レース2。 オートバイの祭典を最後まで楽しもう!!	
16:00			
30	00 Ninja400エキシビジョン決勝 10 4Laps		
17:00			

退出ゲートは18:00にクローズいたしますので、ご協力お願いいたします。

※諸事情によりスケジュールが変更になる場合もございます。ご了承ください。(2018.09.01改訂)
各イベントの詳細はオートポリスウェブサイトにてご確認ください。